

癒しあふれる鹿児島



ありむら よしこ
有村 佳子氏

Profile
株式会社指宿ロイヤルホテル
代表取締役会長
1940年埼玉県生まれ。
埼玉県浦和第一女子高等学校
卒業後、三井信託銀行入社。
1965年指宿で旅館経営に従事
していた有村芳郎氏と結婚。
1973年指宿ロイヤルホテル
創業、副社長就任。1982年芳郎
氏死去により代表取締役就任。
2007年より現職。
鹿児島県観光審議委員、鹿児
島県観光連盟理事、鹿児島県工
業倶楽部理事、国土交通省観光
カリスマ、経済産業省地域中小
企業サポーター、内閣府地域活
性化伝道師などを務められてい
る。

有る日、二人の男性が私のホ

テルにお泊りになった時の話。

お茶をお出しする。茶卓を

屋久杉製にした。

Aさんが「これは屋久杉で

すね」Bさん「いや、僕はそう

は思わない。丁度いいと思う

よ」Aさんと私。???つま

り、Bさんは「焼過ぎ」と聞い

たのである。

私どもには、焼き物の窯が

有り、「いぶすき焼」と称して

いる。ある時、宿泊のお客様が

「おたくには、いぶすき焼と言

うのが有りますか」「はい、ご

ざいます」「では、二人前お願

いします」???すき焼きの

類と間違われた。

昭和五十五年頃、タヌキを

飼育した事が有る。長崎鼻

パーキングガーデンから、「タ

ヌキの赤ちゃんを拾ったので

すが。」と連絡が有り、てのひ

らに乗る程の黒く小さい動物

が私のところに来た。獣医さ

んから動物用粉ミルクを買

い、ぬるま湯で溶かし、動物用

哺乳瓶で飲ませる。お腹が見

る見る膨れ、満腹するとゲッ

プをして、ことごと眠る。突い

ても揺すつても起きない。タ

ヌキ寝入りなどしない。

ミルクを飲んで眠り、す

くすくと育ったタヌキは「錦

之助」と命名され、体重が六キ

ロになった。

ところが、夜行性の彼は夜

中出歩き、近所の老婦人を噛

んでしまった。パトカーが出

動し、始末書をとられ、家では

飼えないと、平川動物園に相

談したら、タヌキは間に合っ

ています、と断られた。

このころから、主人は肺水

腫が進行し、主治医から動物

を家の中で飼う事をやめるよ

う助言された。主人と錦之助

をどうするかと話し合い、心

を鬼にして薬殺することに決

めた。

我が子同然にミルクを与

え、下の世話をして六キロま

で育てたタヌキ。私は覚悟を

決めた。それは、主人の余命が

長く無い事を主治医から聞か

されたからである。

愛しいけれど別れなくてはな

らない。その予行演習として、

錦之助を薬殺しよう。獣医に

より睡眠薬とモルヒネで死が

もたらされ、再び目を開ける

事のない錦之助を埋葬した。

その一年後の同じ日、主人

有村芳郎が他界した。

あれから三十年が過ぎた。

子供のいない私にとつて、全

てがもぎ取られたような

日々。その辛さ悲しさを慰め

てくれたのは、四季ごとに表

情を変える錦江湾・勇壮な桜

島・深い想いを秘めたような

池田湖・優美な開聞岳であつ

た。

特に、開聞岳に沈む夕日は、

「今日一日よく頑張ったね。明

日はきつと良い日になるよ」

と励ましてくれた。

鹿児島の大自然には、生き

る辛さを慰めてくれる癒しと

生きる勇気を与えてくれる愛

が満ちている。